

作成日2026年 4月 15日
(最終更新日20 年 月 日)

受付番号： 第 I2025-209 番

課題名： ヒト子宮内膜を有するモデルの確立

1. 研究の対象

2025年10月1日から2030年3月31日までに、本研究に同意を頂いた方

2. 研究期間

2025年10月1日（研究実施許可日）～2030年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2026年 月 日 実施許可後から

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

哺乳類の中で月経を有する動物はヒトを含めてごく少数であり、子宮内膜に由来する疾患の解明は動物実験では限界があります。ヒトの子宮内膜を有する動物実験モデルの作成方法を確立することで、子宮内膜に由来する様々な疾患の原因やメカニズムを解明し、今後の新たな治療方法を開発することを目的とします。

5. 研究方法

手術で摘出された子宮内膜を観察し、病理検査に不要と判断される箇所から子宮内膜を摘出します。そして、子宮内膜を欠損させた免疫不全状態のマウスに移植します。マウスに生着したかを組織学的に評価します。生着した場合、ホルモン剤投与による機能評価や、ヒト細胞の生着割合を見るために遺伝子発現解析を追加します。遺伝子発現データを、個人が識別できないように加工したうえで、公的データベースに登録する可能性があります。遺伝子発現解析に同意頂けない場合は、この解析を行いません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテに記載された情報（特定の個人が識別できないように加工し、年齢、閉経年齢、経妊経産、手術適応となった疾患、治療経過を取得する）

試料：手術で摘出した子宮から採取した子宮内膜の検体

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われたいのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：

東京科学大学 周産・女性診療科 教授 宮坂 尚幸

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

Tel 03-5803-0009（平日 9：00～17：00）

東京科学大学 生殖機能協関学 大学院生 谷田部 菜月

東京科学大学 疾患モデル動物解析学 教授 金井 正美

東京科学大学 疾患モデル動物解析学 大学院生 早川 佳那

当院の研究責任者：東京科学大学 周産・女性診療科 教授 宮坂 尚幸

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）